

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和元年 月 日

協議会名:燕・弥彦地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
1.株式会社燕タクシー	燕市デマンド交通 おでかけきらん号	広報紙への掲載やパンフレットで周知を図り、利用者は前年に比べ増加した。また予約受付時や窓口・電話での問い合わせ対応時において、比較的空いている時間帯での利用を案内することにより、予約を他の時間に変更する人が増え、少しずつではあるが分散化が図られている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C デマンド交通の1日平均利用者数が、目標の160人/日(年換算38,560人)に対し、実績が158.0人/日(年換算38,085人)と下回り、事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。しかし、利用者数は過去最高となっており、利用がより広まってきたことと、配車技術が向上していることによるものと推測される。	気象状況によっては予約を制限することも必要であり、これからも利用者の安全を第一に考えた運行を行っていく。また利用時間帯の集中については、高齢者の通院利用が多いことが要因となっており早期の解決には繋がりにくい。利用者数の増加に向け、今後も分散化を図る取組みを継続的に実施していく。
2.株式会社中央タクシー					
3.中越交通株式会社					
4.まきタクシー有限会社					
5.地藏堂タクシー有限会社					
6.弥彦タクシー株式会社					
7.越佐観光バス株式会社	弥彦・燕広域循環バス やひこ号	広報紙への掲載や観光シーズンにチラシを作成し配布するなど、住民以外の人達にも広くPRし、利用促進のための啓発を推進した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 広域循環バスの1日平均利用者数が、目標の75人/日(年換算18,075人)に対し、実績が83.0人/日(年換算20,002人)と上回り、事業が計画に位置づけられた目標を達成した。	より多くの方々に利用してもらえるよう、今後も啓発等による利用促進を図り、利用者数の増加に努める。